

事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成 31 年 1 月 23 日

事業所名：ABA 推進事業所ルカノア

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が訓練指導室等スペースとの関係で適切である	○		個室がある	
	2	職員の配置数は適切である	○		ほぼマンツーマンである	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		スロープがある	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		個別が中心なので1人1人が個室である	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		プログラムがあるので毎日カンファレンスが行われる	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		1年に1回、評価してもらっている	意向が反映されないこともあるので気をつける
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価表を行うとともに、その結果による支援の質の評	○		HPがないので直接、結果を渡している	HPを作る予定（31年3月頃）

		価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している				
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		検討中です
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎週、研修をしている	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		90%の保護者が一緒にセラピーを行うのでニーズが分かる	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		独自のツールがある	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」の「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		ABA セラピーに特化しているので本人支援が中心です	保護者はABAを習いに来ているので地域支援が後になってしまいます。今後の課題として話し合っていきます
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		行われている	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		行っている	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		している	課題が出来れば次に進む
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		している	課題が出来れば次に進む

	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		確認している	課題の進み方が合っているか上司が定期的にチェックする
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日カンファレンスをしている	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録を取っている	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		行っている	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		スタッフ全員が参加している	必要に応じて、外部（BCBA）にも参部してもらっている
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○	連携がほとんどない	連携を前向きに検討します
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	受け入れがありません	受け入れがある場合は連携して行きます
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療		○	受け入れがありません	受け入れがある場合は連携して行きます

	機関等と連絡体制を整えている				
25	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		学校・幼稚園と交流しています	訪問して先生に助言を受けています
26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		就学先の学校へ出向き情報共有しています	全員ではないので、今後増やしていきます
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	受けていません	ABA セラピーを他の機関がやっていないので助言が受けられません
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	ありません	検討します
29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		町の協議会の委員をしています	
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		23人中20人が保護者と一緒に来ています	残り3名に対しても状況を伝えています
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		ペアトレのために来てもらっています	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		行っています	
33	児童発達支援ガイドライン			利用者23人中	

保護者への説明責任等		の「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		20人がABAを目的として来ていますので、計画もABAに沿って同意を得ています	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		毎回行っています	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		利用の際に保護者同士、話す機会を設けています	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れが合った場合に迅速かつ適切に対応している	○		気軽に相談できる体制を取っています	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	個別療育のため行事はありません	検討していきます
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		しています	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		しています	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	招待はありません	検討します
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに	○		しています	

非常時等の対応		に、発生を想定した訓練を実施している				
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		しています	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		しています	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者から情報を伝えてもらっています	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		共有しています	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修を行っています	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		現在、該当する利用者はいません	身体拘束は行いません

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：平成31年1月23日

事業所名：ABA 推進事業所ルカノア

保護者数（児童数）23 回収数 14 割合 61%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11/14	2/14		1/14		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	12/14	1/14	1/14			
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9/14	3/14		2/14		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5/5 (児)					
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	13/14	1/14				
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの	5/5 (児)					

		支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか						
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5/5 (児)					
	8	活動プログラムが固定されないよう工夫されているか	12/14					
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3/5 (児)		2/5			
保護者等への説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14/14					
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	5/5 (児)					
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	8/14	3/14	2/14	1/14		
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14/14					
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13/14			1/14		
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等	6/14	5/14		3/14	療養の合間に他の保護者に相談	今後も気軽に保護者同士、

		により保護者同士の連携が支援されているか				やお話することがある	話せるように支援します
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	13/14			1/14	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や、情報伝達のための配慮がなされているか	13/14			1/14	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	9/14		3/14	2/14	
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	12/14			2/14	
非常時の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。 また、発生を想定した訓練が実施されているか	10/14	2/14		2/14	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7/14	3/14		4/14	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	14/14				
	23	事業所の支援に満足しているか	13/14	1/14			子どもの出来る事が増え、楽しめる事が沢山あります 今後も ABA に力を入れていきます

							きた	
--	--	--	--	--	--	--	----	--

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

(保護者向け) 児童発達支援評価表

利用者 5名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5/5					
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	5/5					
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境(※1)になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5/5					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5/5					
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(※2)が作成されているか	5/5					
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切	5/5					

		に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか						
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5/5					
	8	活動プログラム（※3）が固定されないよう工夫されているか	5/5					
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3/5		2/5			
保護者等への説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5/5					
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	5/5					
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング（※4）等）が行われているか	5/5					
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	5/5					
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5/5					
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等	3/5	2/5				

		により保護者同士の連携が支援されているか					
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	5/5				
	17	子どもや保護者との意思の疎通や、情報伝達のための配慮がなされているか	5/5				
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3/5	1/5		1/5	
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	5/5				
非常時の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。 また、発生を想定した訓練が実施されているか	3/5	1/5		1/5	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2/5	2/5			
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	5/5				
	23	事業所の支援に満足しているか	5/5				

※1 「本人に分かりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人に分かりやすくすることです。

※2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

※3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

(保護者等の皆様へ)

○この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらでもない」、「いいえ」、「わからない」のいずれに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。